

2018年度第1四半期 決算カンファレンスコール



2018年8月2日
参天製薬株式会社

参天製薬の基本理念・基本使命

天機に参予する

〈基本理念〉

中国の古典「中庸」の一節を参天が独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。
自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。

肝心な事は何かを深く考え、どうするかを明確に決め、迅速に実行する。

〈基本使命〉

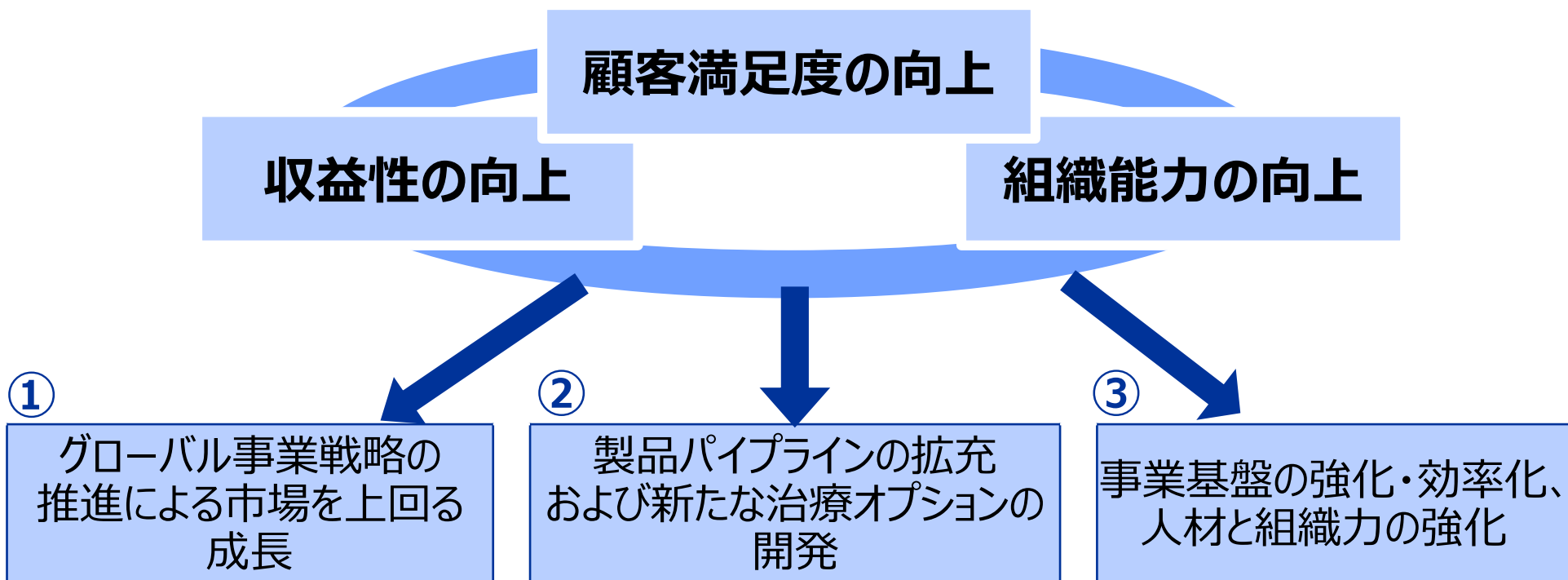
**「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、
これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、
患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、
社会への寄与を行う。**

「MTP2020」基本方針と、3つの「向上」

基本方針

- 「世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー」の実現
- 2020年度以降の持続的成長に向けた道筋の構築

3つの「向上」



世界の患者さんと医療関係者のニーズに応えることで確実な成長を遂げ、
持続的に世界の眼科治療に貢献する。

2018年度第1四半期 連結決算概要

2018年度第1四半期 決算概要（対前期）

～薬価改定の影響下、増収確保するも、営業利益では減益。
 但し、通期目標に向けて計画通りの進捗。

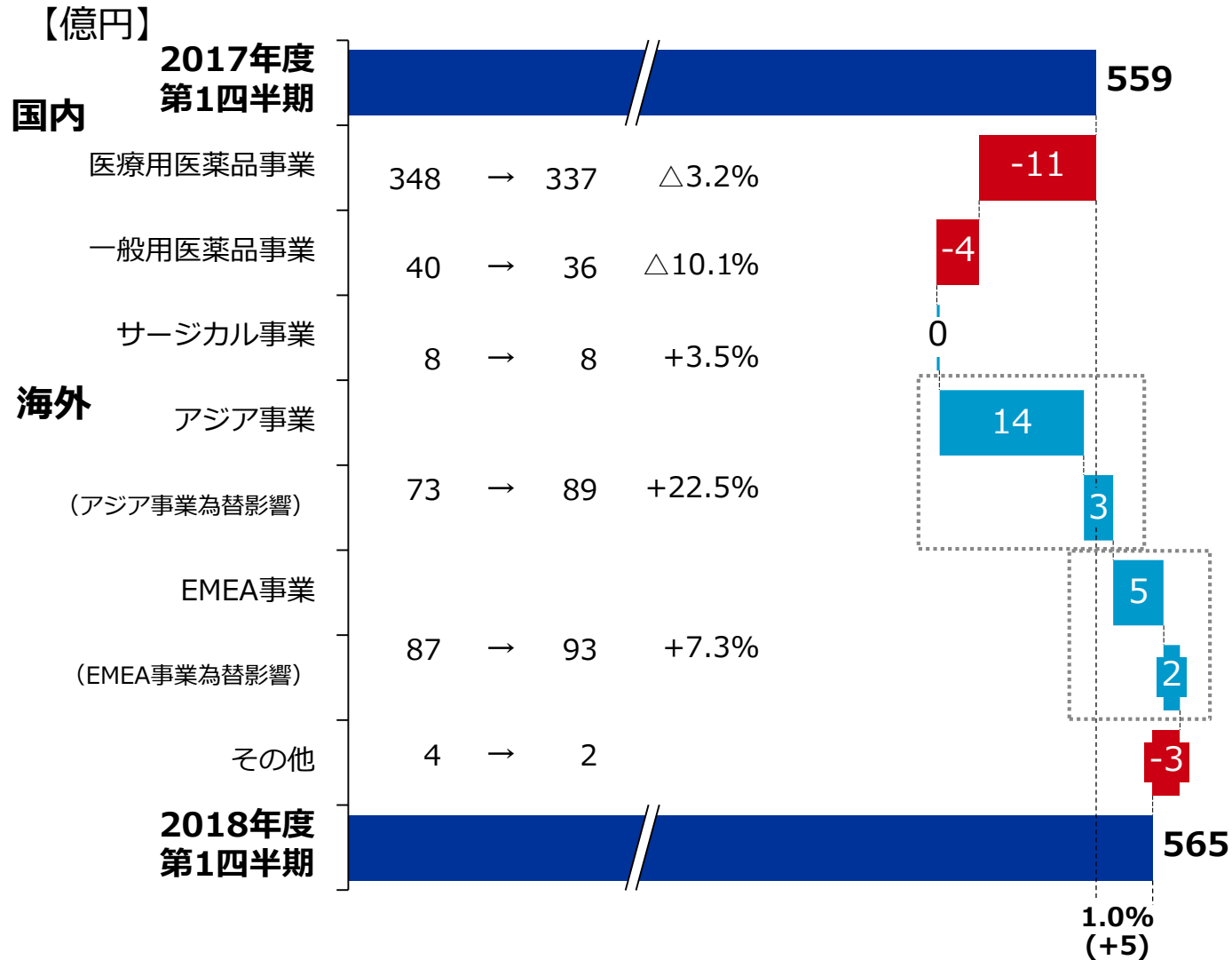
売上収益	国内薬価改定のマイナス影響を海外事業の成長により吸収して増収。	
	565億円 対前期：+1.0%	

営業利益	各事業で費用最適化に努めるも、薬価改定の影響もあり減益。 但し、前年同期における一過性要因による増益の反動もあり、今期進捗としては計画通り。	
	・コアベース：117億円 対前期：△14.8%	・フルベース：100億円 対前期：△16.9%
	販管費：162億円 対前期：+7.4%	
	研究開発費：56億円 対前期：+0.1%	

（要約PLはAppendixをご参照ください。）

2018年度第1四半期 売上収益

～海外事業が引き続き順調に推移。



国内事業

- 医療用医薬品 薬価改定によるマイナス影響（△4%以上）を、アイリーア*1（+6.6%）、ジクアス（+5.2%）の伸長により緩和。
- 一般用医薬品 ベースとなるインバウンド・国内需要トレンドに変化はないが、前年同期実施のサンテFXキャンペーン効果の反動による減収。
- サージカル事業 医薬品事業と連携した営業活動を継続。

海外事業

- アジア事業 前期に引き続き中国・韓国で順調に推移。中国：+32.0%、韓国：+25.2%（円建て）
- EMEA事業 前期におけるロシアの一時的需要の反動あるも、Cosopt、Tapros、Ikervisを中心にイタリア・ドイツなど主要国にて順調に推移。イタリア：+17.2%、ドイツ：+8.4%（円建て）

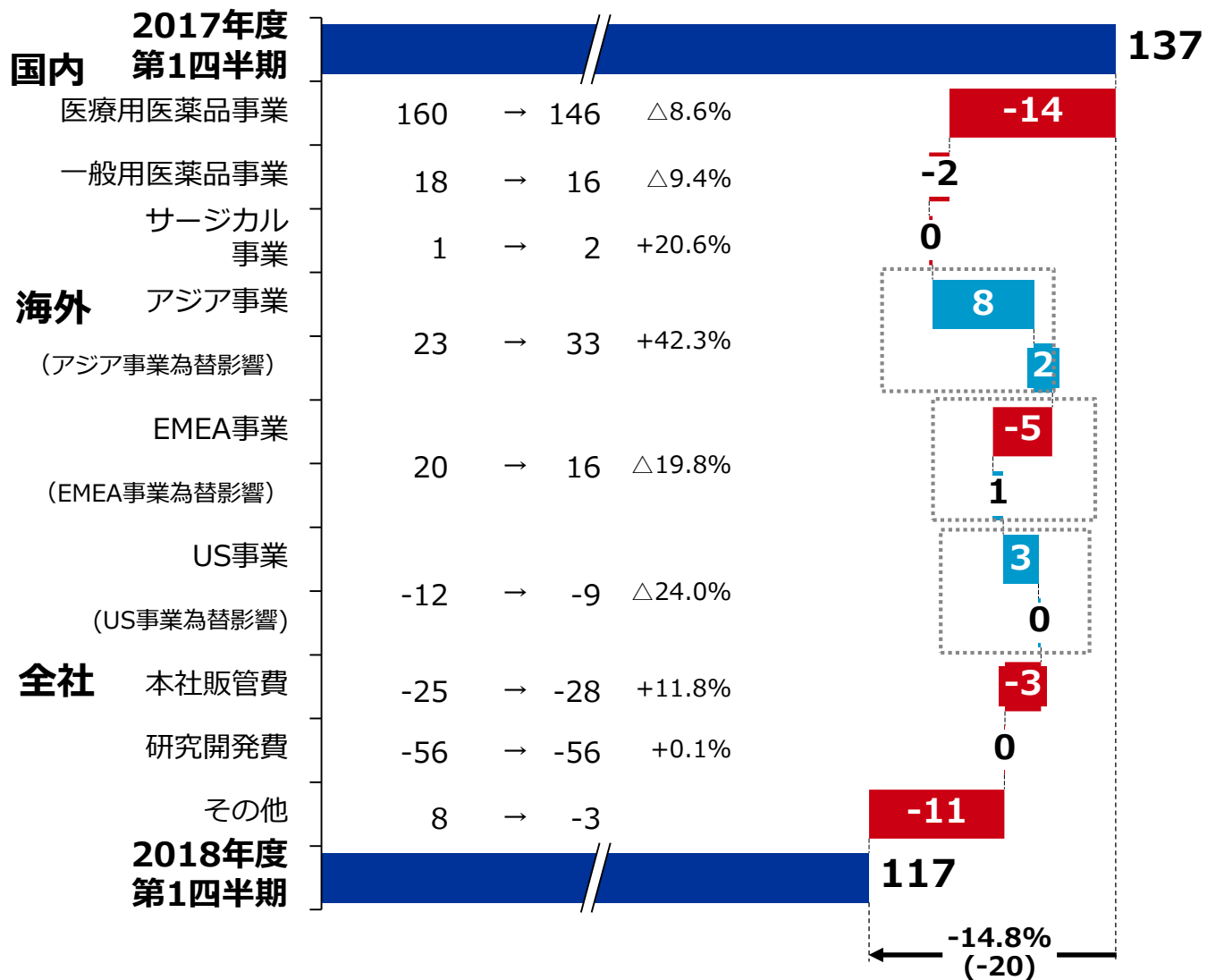
	2017年度第1四半期	2018年度第1四半期
USD	JPY 111.33	JPY 108.87
EUR	JPY 122.95	JPY 129.57
CNY	JPY 16.22	JPY 17.01

アイリーア*1：製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品

2018年度第1四半期 コア営業利益

～費用最適化に努め、薬価引下げ影響を緩和・通期目標に向けて計画通りの進捗

【億円】



国内事業

医療用医薬品

前年同期における一過性要因による売上増、ならびに薬価改定ならびにプロダクトミックスの影響による原価率上昇の影響。販管費は抑制に努め、対前期比減少。

一般用医薬品

キャンペーンによる前期売上増の反動。販管費は抑制に努め、対前期比減少。

海外事業

アジア事業

売上成長と費用コントロールにより、利益が伸長。

EMEA事業

各国にて順調に利益計上するも、前期上期に発生したロシアでの需要の反動により、一時的に減益。

US事業

DE-109上市準備関連費用の一時停止による販管費減少。

研究開発費

DE-117日本臨床試験の終了、DE-109の一時停止に加え、費用投下の最適化により、対前期比ほぼ横ばいで推移。

	2017年度第1四半期	2018年度第1四半期
USD	JPY 111.33	JPY 108.87
EUR	JPY 122.95	JPY 129.57
CNY	JPY 16.22	JPY 17.01

事業別実績推移 (国内)

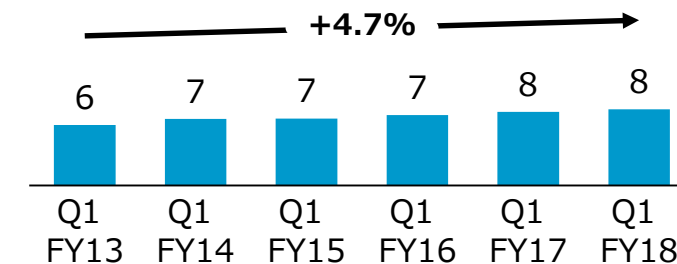
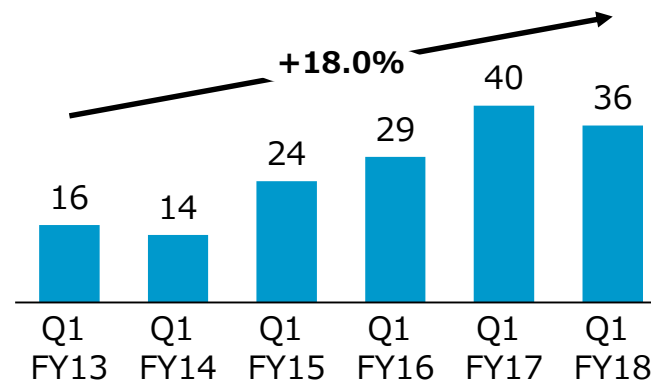
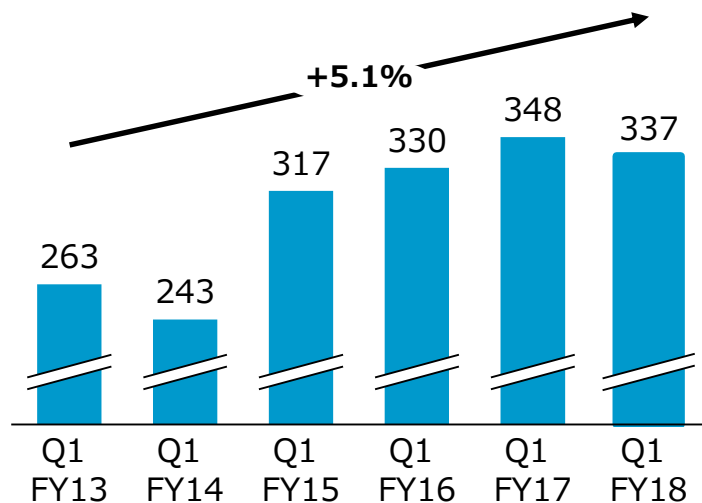
(億円、CAGR:%)

【医療用医薬品事業】

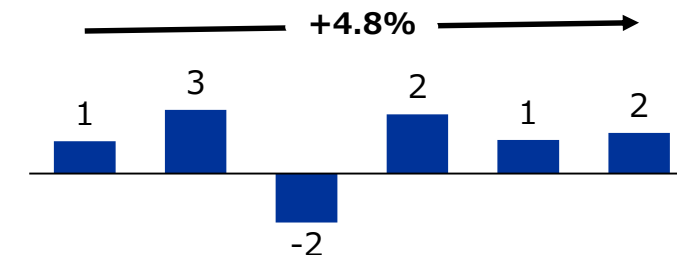
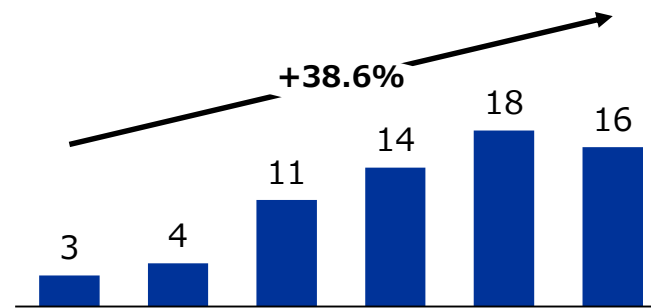
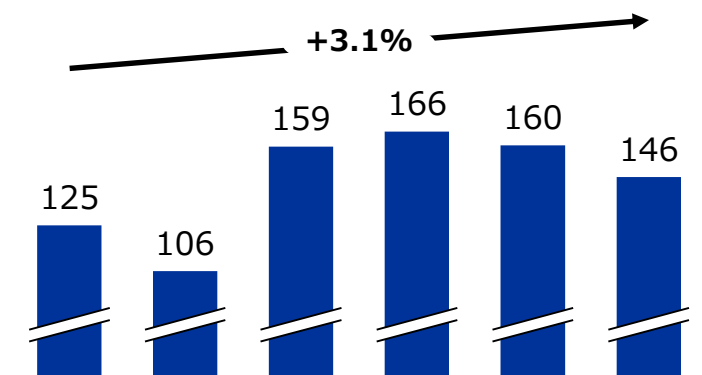
【一般用医薬品事業】

【サージカル事業】

売上収益



R&D費前
営業利益



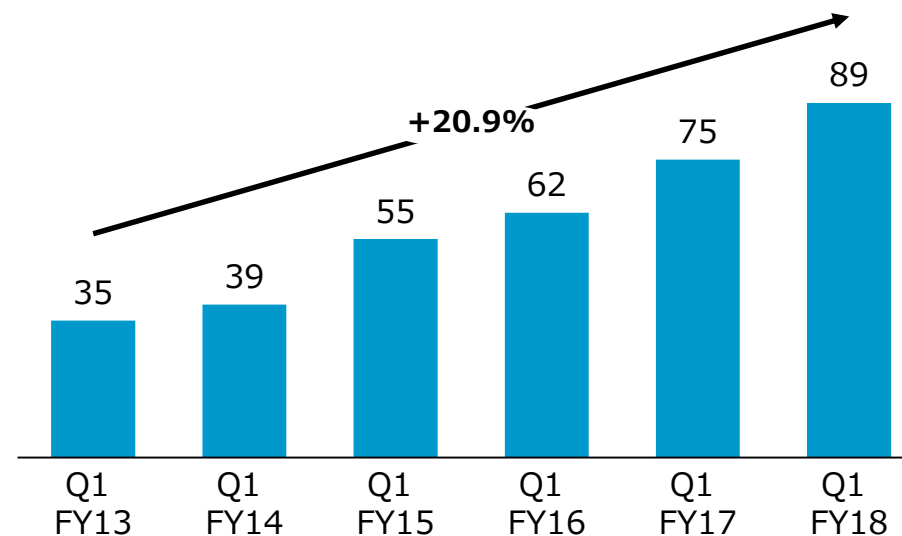
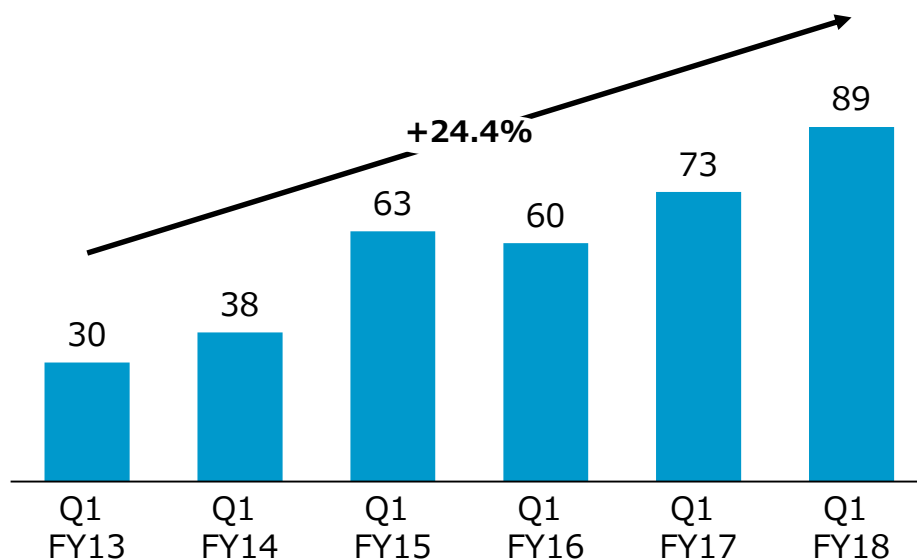
事業別実績推移 (アジア事業)

(億円、CAGR:%)

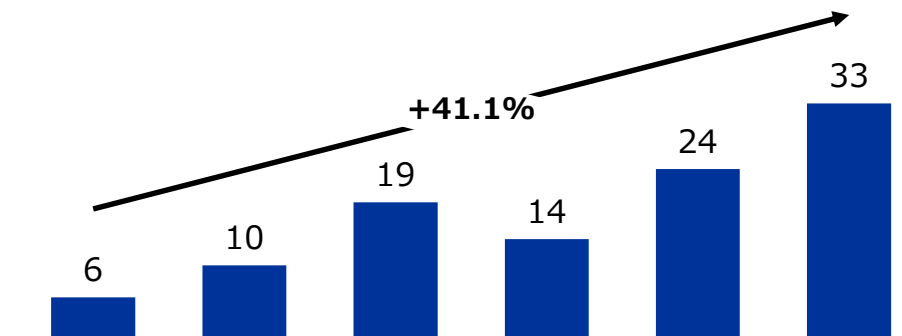
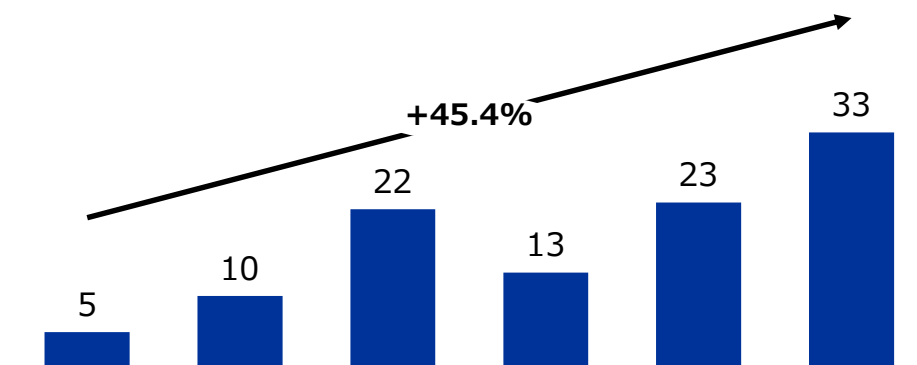
日本円建

現地通貨ベース
(FY18レートにて固定して換算)

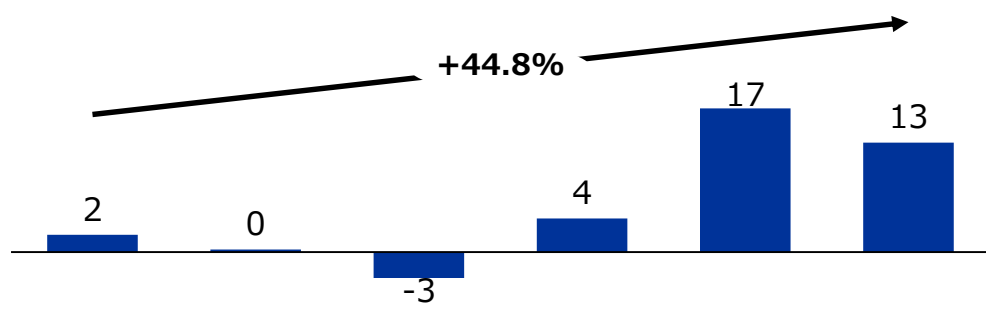
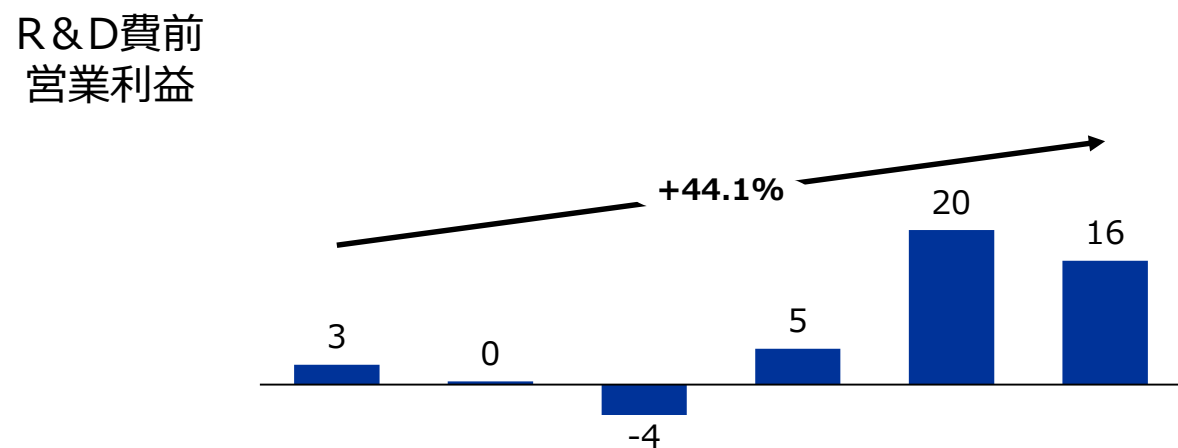
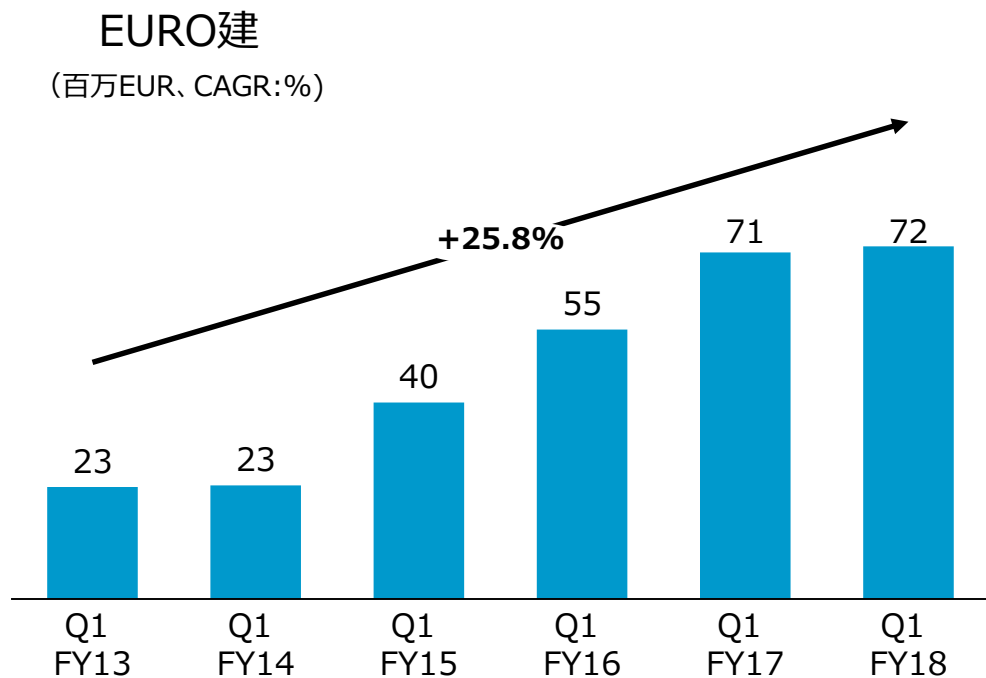
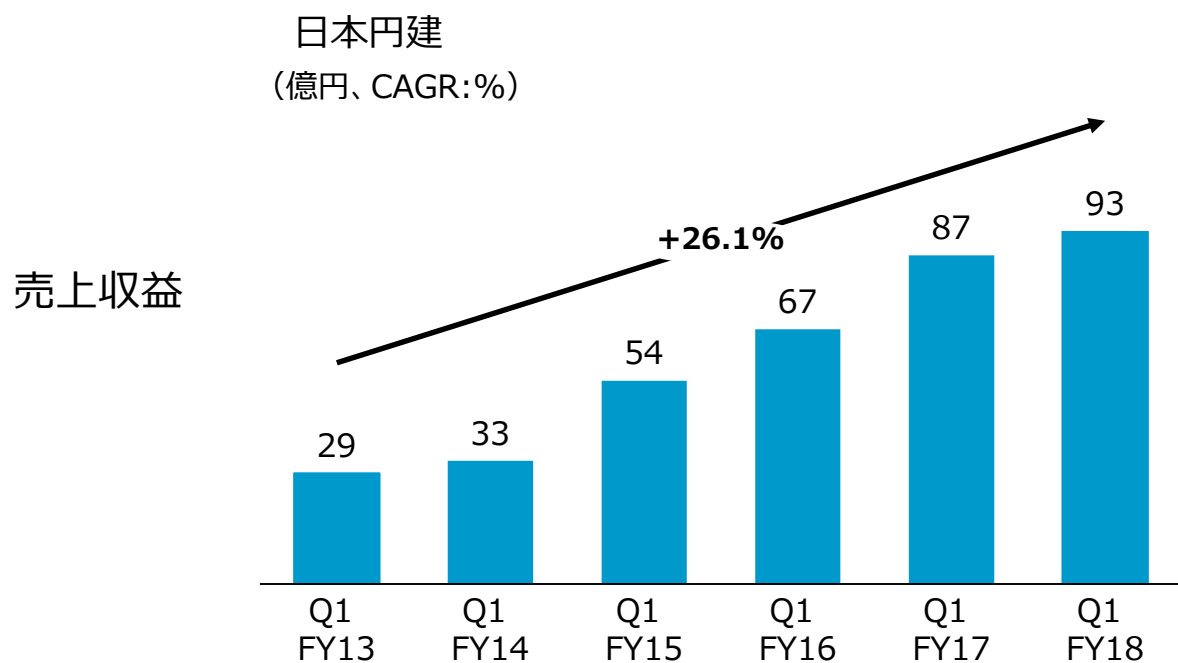
売上収益



R&D費前
営業利益



事業別実績推移 (EMEA事業)



2018年度業績予想 (5月9日発表数値から変更なし)

【億円】

【売上収益】

【コア営業利益】



	2017年度	2018年度予想
USD	JPY 110.94	JPY 110.00
EUR	JPY 129.92	JPY 130.00
CNY	JPY 16.84	JPY 17.00

2018年度配当予想 (5月9日発表数値から変更なし)

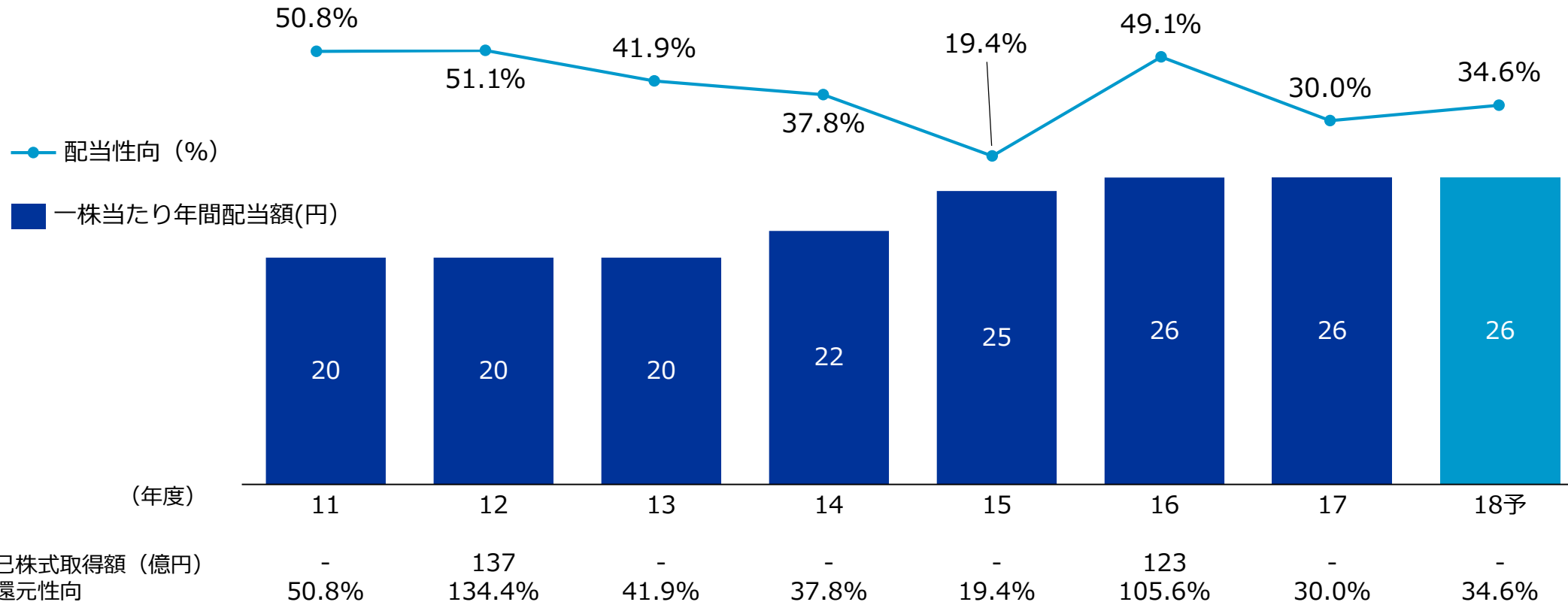
■ 年間配当

● 2018年度通期予想：26円

■ 安定性、持続性を重視した株主還元

■ 2020年以降の成長に向けた中長期的な戦略投資

→この2つのバランスのもとに、配当をはじめとする株主還元策を実施。



*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

研究開発の現状



常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー (CSO)

兼 研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

パイプライン/製品の開発状況①

	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-117 EP2受容体作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2 計画：2018年度下期P3開始
		日本	現状：申請中 計画：2018年度下期承認
		アジア	現状：P3 計画：2018年度下期 P3完了
DE-126 FP/EP3受容体 デュアル作動薬	緑内障・ 高眼圧症	米国	現状：P2b
		日本	
DE-128 <i>InnFocus MicroShunt</i>	緑内障	米国	現状：P2/3 計画：2018-2019年 P2/3 完了、2020-2021年 上市
		欧州	現状：CEマーク取得
DE-109 シロリムス 硝子体内注射剤	ぶどう膜炎	米国	現状：P3 計画：2018年度下期 追加臨床試験開始
		日本	現状：P3
		欧州	現状：P3
		アジア	現状：申請中
DE-122 抗エンドグリン抗体	滲出型 加齢黄斑変性	米国	現状：P2a 計画：2019年1-6月 P2a完了

パイプライン/製品の開発状況②

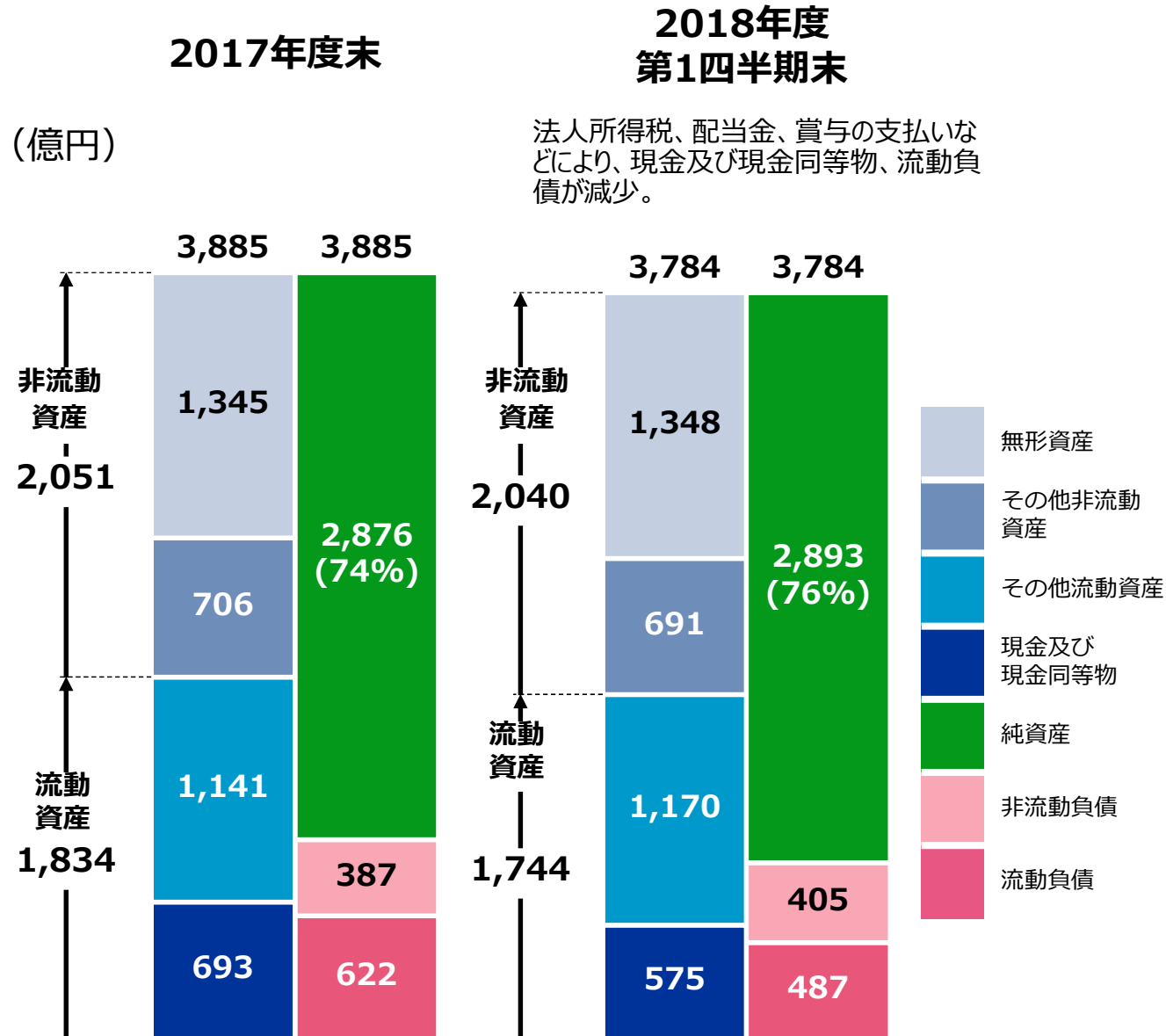
	効能・効果	開発地域	開発状況
DE-089 ジクアス点眼液	ドライアイ	中国	現状：承認済み 計画：2018年度上市
DE-076B Cyclokat / Ikervis シクロスポリン	ドライアイに伴う重度の 角膜炎	アジア 米国	現状：上市 現状：P2
DE-076C Vekacia / Verkazia シクロスポリン	春季カタル	欧州	現状： <u>承認済み</u>
DE-114A エピナスチン塩酸塩 (高用量)	アレルギー性 結膜炎	日本	現状： <u>P3完了</u> 計画： <u>2018年度下期申請</u>
DE-127 アトロピン硫酸塩	近視	アジア	現状：P2 計画：2019年度下期P2完了

参考資料

2018年度第1四半期 要約純損益計算書

(単位：億円)	2017年度 第1四半期		2018年度 第1四半期		対前期 増減率
	実績	(対売上収 益比率)	実績	(対売上収 益比率)	
売上収益	559		565		1.0%
売上原価	-216	-38.6%	-230	-40.8%	6.7%
販売費及び一般管理費	-151	-26.9%	-162	-28.6%	7.4%
研究開発費	-56	-10.0%	-56	-9.9%	0.1%
製品に係る無形資産償却費	-17	-3.0%	-17	-3.1%	5.0%
その他の収益	1	0.1%	1	0.2%	42.9%
その他の費用	-1	-0.1%	-0	-0.1%	-52.4%
営業利益(フルベース)	121	21.5%	100	17.7%	-16.9%
金融収益	5	0.8%	5	0.9%	10.8%
金融費用	-4	-0.8%	-11	-1.9%	149.6%
税引前当期利益	121	21.6%	95	16.7%	-21.7%
法人所得税費用	-31	-5.5%	-26	-4.6%	-15.2%
(負担税率)	25.4%		27.5%		2.1pt
当期利益 (フルベース)	90	16.1%	69	12.1%	-24.0%
コア営業利益	137	24.5%	117	20.7%	-14.8%
コア当期利益	102	18.2%	86	15.3%	-15.1%

2018年度第1四半期末 財政状態の推移



	2017年度末	2018年度第1四半期末	増減額
非流動資産	2,051	2,040	-11
有形固定資産	297	306	9
無形資産	1,345	1,348	3
金融資産	358	341	-17
その他	51	44	-7
流動資産	1,834	1,744	-89
棚卸資産	306	318	12
営業債権	787	806	19
現金及び現金同等物	693	575	-118
その他	48	46	-2
純資産	2,876	2,893	17
非流動負債	387	405	18
長期借入金	35	35	-
長期未払金	177	186	9
繰延税金負債	129	136	7
その他	46	49	2
流動負債	622	487	-136
営業債務	297	271	-26
金融負債	144	115	-29
未払法人所得税等	77	23	-54
その他	104	78	-26

2018年度第1四半期 セグメント別売上

セグメント別売上収益

(単位：億円)	日本			海外			合計		
	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	対前期 増減率	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	対前期 増減率	2017年度 第1四半期	2018年度 第1四半期	対前期 増減率
医薬品事業	397	380	-4.1%	163	184	13.3%	559	565	1.0%
医療用医薬品	350	337	-3.8%	162	183	13.1%	512	520	1.6%
眼科薬	349	336	-3.6%	161	182	13.5%	509	519	1.8%
その他医薬品	2	1	-52.3%	1	1	-32.4%	3	2	-43.0%
一般用医薬品	39	35	-11.8%	1	1	-2.2%	40	35	-11.7%
医療機器	6	6	5.6%	0	0	340.4%	6	7	8.3%
その他	1	2	107.1%	0	0	626.3%	1	3	126.6%
売上比率	70.9%	67.4%		29.1%	32.6%				

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2017年度		2018年度		
	第1四半期	通期	第1四半期	通期	
	実績	実績	実績	対前期 増減率	予想
設備投資額	10	54	13	31.4%	75
減価償却費及び償却費*	10	42	10	-0.2%	43
製品に係る無形資産償却費	17	67	17	5.0%	69
メルク無形資産償却費	14	56	15	5.2%	58
Ikervis無形資産償却費	2	7	2	5.2%	7

* 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

国内医療用眼科薬 市場概況

2017年度第1四半期累計

2018年度第1四半期累計

単位 億円	参天販売製品*		市場		参天販売製品* シェア	順位	参天販売製品*		市場		参天販売製品* シェア	順位
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率			金額	対前期増減率	金額	対前期増減率		
Total	414	6.5%	904	4.3%	45.8%	No.1	429	3.6%	917	1.5%	46.8%	No.1
抗緑内障剤	92	-2.2%	293	0.5%	31.4%	No.1	89	-3.6%	287	-1.9%	30.9%	No.1
抗VEGF薬	151	14.6%	211	14.1%	71.5%	No.1	168	11.1%	233	10.2%	72.1%	No.1
角膜疾患治療剤	73	3.0%	117	3.5%	62.5%	No.1	70	-4.3%	114	-3.2%	61.7%	No.1
抗アレルギー剤	41	20.9%	89	8.8%	46.4%	No.1	51	22.9%	100	13.1%	50.4%	No.1
抗菌点眼剤	15	-13.0%	37	-4.2%	41.3%	No.1	13	-18.3%	34	-7.1%	36.4%	No.1

2017年7月1日~2018年6月30日

	参天販売製品*		市場		参天販売製品* シェア	順位
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率		
Total	1,694	6.0%	3,646	4.4%	46.5%	No.1
抗緑内障剤	356	-2.8%	1,144	-0.1%	31.1%	No.1
抗VEGF薬	629	12.6%	874	13.4%	72.0%	No.1
角膜疾患治療剤	287	-0.1%	463	0.8%	62.0%	No.1
抗アレルギー剤	215	26.9%	440	14.4%	48.7%	No.1
抗菌点眼剤	53	-14.7%	136	-5.4%	38.8%	No.1

*製造販売元であるバイエル薬品（株）とのコ・プロモーション製品（抗VEGF薬「アイリーア」）を含む
出典：Copyright © 2018 IQVIA. IMS-JPM 2016-18を基に参天分析 無断転載禁止

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

Santen

A Clear Vision For Life™